



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 川辺株式会社  
コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3352-7110

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,728	3.5	90		46		73	
2023年3月期第2四半期	5,536	21.6	220		182		199	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 9百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 11百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.43	
2023年3月期第2四半期	109.10	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,696	6,389	54.6
2023年3月期	12,188	6,407	52.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,389百万円 2023年3月期 6,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				15.00	15.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,491	7.5	135	9.5	208	1.3	100	19.7	54.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,861,000 株	2023年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	35,609 株	2023年3月期	35,489 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,825,490 株	2023年3月期2Q	1,825,634 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行や入国制限の緩和により、社会活動が正常化し、回復基調に転じております。一方で、ウクライナ情勢の長期化による不安材料に加え、急激な為替の変動や資源高が進行するなど景気への悪影響が懸念される状況が続きました。個人消費においても、行動制限等の緩和とそれに伴う観光サービス業等の需要に回復の動きがみられたものの、インフレからの物価上昇懸念による節約意識が高まるなど、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要販路である百貨店・量販店・直営店においては、外出機運や消費意欲の高まりから入店客数が増加したこと、各種イベントの再開によって需要が盛り上がったこともあり、一部の店舗ではコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じております。また、インバウンド需要も順調に回復し、リベンジ消費に期待が持てる機運に好転いたしました。

このような状況下、当社グループにおいては、生活様式や働き方など様々な価値観の変化、デジタル化の加速によるEC拡大や非対面、非接触でのサービスなどの拡大、社会面では環境問題、少子高齢化や物価高など、様々な今後の課題に対処するために三か年計画「中期経営計画2023NEXT」を策定し、今期よりスタートいたしました。

当社グループは生産の川上から販売のリテールまでのサプライチェーン、いわゆる垂直型が強みです。それを活かし、生産性の向上、コスト削減による収益確保、さらに新たにグループ全体で取り組むオリジナルブランド強化に努め、企業価値向上と顧客満足度向上、資産価値の形成に努める目標を掲げて、1年目のフェーズに臨んで参りました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高57億28百万円(前年同期比103.5%)、営業損失90百万円(前年同期営業損失2億20百万円)、経常損失46百万円(前年同期経常損失1億82百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億99百万円)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### 身の回り品事業

当第2四半期連結累計期間の身の回り事業全体としては、経済活動の正常化に伴い市場はリアル店舗を中心に回復基調に転じました。

ハンカチーフにつきましては、前期に引き続き新規取引先の積極的な開拓や百貨店平場以外でのイベント開催等による新しい売上を構築できたことに加え、シェニール織企画の高級品素材によるタオルハンカチーフやラルフローレンブランドのエコバッグ等単価アップ施策に繋がる商材が引き続き好調に推移したことや、新たな戦略として打ち出したキャラクター商材が市場で評価いただいたこと、そして大判プリントハンカチーフを中心に訪日外国人観光客需要を取り込むことができた結果、売上は前年比110.3%となりました。

トピックスとしまして、元プロ野球選手斎藤佑樹氏とのプロジェクト「斎藤ハンカチ店」のお披露目を2023年9月8日に行い、同日より当社ECで販売開始となり、大きな反響もいただきました。

スカーフ・マフラーにつきましては、第2四半期開始当初はシルクスカーフや当社におけるスカーフカテゴリーに分類されるニコライバグマン晴雨兼用傘が昨年に引き続き好調に推移しました。また、秋物市場の立ち上がりに関しましても、ファッショントレンドの回復によりシルクスカーフや薄手カシミアストール、無染色カシミアシリーズ、敬老の日向け商品など新作が順調に推移した結果、売上は前年比112.5%となりました。

タオル・雑貨につきましては、この数年間成長し続けたテレビ通販部門のタオル関連商材が外出機運の高まりで売上が大きく鈍化したことと、昨年大きく伸長したプール関連商品のラップタオルによる売上が前年を下回る結果となったことにより売上は前年比74.8%となりました。

この結果、身の回り品事業での売上は、前年比101.4%となりました。

#### フレグランス事業

当第2四半期連結累計期間のフレグランス事業につきましては、主力販路である百貨店を中心にイベントの開催、及び新規導入ブランド「CREED」の取扱いが8月より開始など新しい戦略が実を結び、売上は前年比114.7%となりました。

フレグランス市場全体では、ウィメンズ、メンズ、ボーダーレスで広がりを見せており、新しい戦略商品だけでなく、既存フレグランスブランドも確実に成長を遂げております。

その結果、2010年1月より開始したフレグランス事業が当第2四半期累計期間の段階にて初の黒字化を達成することができました。

全事業といたしましては、苦戦するアイテムはあったものの、主軸アイテムであるハンカチーフが前年比110.3%、フレグランスが前年比114.7%となり、前年同期と比べ、売上高の増加が実現できました。

また、コスト環境は為替や原油高等の影響により、前年度に増して厳しい状況の中、数十年変化のなかったハンカチーフ商品の価格値上げ、その他の商品も価格見直しを行った結果、売上にマイナス影響が出ることがなかったこと及びインバウンド需要も順調に回復した結果、売上総利益は前年度と比較し、20.5%と大幅に上回ることもでき、売上総利益の増加となりました。

一方で販売費及び一般管理費が増加した結果となりました。これは創業100周年事業開催の費用と新規案件に対しての先行投資によるもので一時的な抛出となりますが、売上総利益の増加により営業利益、経常利益は共に前年同期と比べ大幅に改善いたしました。また、積極的な営業活動を行う過程で発生した未実現利益の消去や法人税等の増加があったものの、売上総利益の大幅な改善が利益構築を牽引し、親会社株主に帰属する四半期純利益も同様に大幅な改善となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の121億88百万円から116億96百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ4億74百万円減少し、53億7百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、63億89百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日発表の「2023年3月期決算短信」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,585,020	1,474,968
受取手形及び売掛金	2,360,351	1,604,215
商品及び製品	2,811,244	3,061,493
仕掛品	49,322	67,100
原材料及び貯蔵品	147,132	181,860
その他	210,057	235,952
貸倒引当金	△2,494	△1,388
流動資産合計	7,160,635	6,624,202
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	740,191	733,654
工具、器具及び備品（純額）	50,294	61,350
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	117,585	108,551
有形固定資産合計	2,007,795	2,003,281
無形固定資産	228,733	234,298
投資その他の資産		
投資有価証券	673,541	774,961
投資不動産（純額）	1,567,600	1,559,416
その他	550,611	500,565
投資その他の資産合計	2,791,754	2,834,942
固定資産合計	5,028,282	5,072,522
資産合計	12,188,917	11,696,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,723	1,738,928
短期借入金	2,098,922	2,027,489
未払法人税等	119,733	42,470
賞与引当金	31,385	31,587
その他	662,212	520,977
流動負債合計	4,740,977	4,361,453
固定負債		
長期借入金	486,267	388,470
退職給付に係る負債	380,481	374,990
資産除去債務	50,816	50,896
その他	122,902	131,211
固定負債合計	1,040,466	945,567
負債合計	5,781,444	5,307,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,814,027	2,712,838
自己株式	△54,713	△54,844
株主資本合計	6,250,381	6,149,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,211	178,193
繰延ヘッジ損益	△11,580	1,328
為替換算調整勘定	31,196	35,193
退職給付に係る調整累計額	20,264	25,928
その他の包括利益累計額合計	157,092	240,642
純資産合計	6,407,473	6,389,704
負債純資産合計	12,188,917	11,696,725

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,536,184	5,728,084
売上原価	3,665,301	3,472,865
売上総利益	1,870,882	2,255,219
販売費及び一般管理費	2,090,994	2,346,018
営業損失(△)	△220,112	△90,799
営業外収益		
受取利息	26	72
受取配当金	4,181	5,003
投資不動産賃貸料	68,268	67,452
その他	30,093	31,786
営業外収益合計	102,570	104,316
営業外費用		
支払利息	13,345	11,314
不動産賃貸費用	39,097	41,135
持分法による投資損失	7,554	6,158
その他	4,572	1,289
営業外費用合計	64,570	59,898
経常損失(△)	△182,111	△46,381
特別利益		
固定資産売却益	-	849
特別利益合計	-	849
特別損失		
固定資産除売却損	-	931
店舗閉鎖損失	1,398	-
特別損失合計	1,398	931
税金等調整前四半期純損失(△)	△183,510	△46,462
法人税等	15,680	27,343
四半期純損失(△)	△199,190	△73,805
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△199,190	△73,805



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△199,190	△73,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166,016	60,981
繰延ヘッジ損益	15,872	12,908
持分法適用会社に対する持分相当額	11,843	3,996
退職給付に係る調整額	△6,013	5,663
その他の包括利益合計	187,718	83,550
四半期包括利益	△11,472	9,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,472	9,744
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△183,510	△46,462
減価償却費	91,191	83,491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	110	△1,106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	426	202
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,180	2,671
受取利息及び受取配当金	△4,208	△5,076
支払利息	13,345	11,314
固定資産除売却損益 (△は益)	-	81
受取賃貸料	△68,268	△67,452
不動産賃貸費用	17,857	25,167
持分法による投資損益 (△は益)	7,554	6,158
売上債権の増減額 (△は増加)	627,525	759,167
棚卸資産の増減額 (△は増加)	41,810	△302,754
未収入金の増減額 (△は増加)	295	△5,380
立替金の増減額 (△は増加)	△3,562	△132
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,278	△120,377
未払金の増減額 (△は減少)	△1,337	35,512
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,801	3,383
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△83,828	△148,931
その他の資産・負債の増減額	4,492	14,344
小計	427,994	243,818
利息及び配当金の受取額	4,208	5,076
利息の支払額	△13,067	△11,131
法人税等の支払額	△29,296	△80,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,839	157,192
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,197	△100,587
無形固定資産の取得による支出	△16,874	△14,263
投資有価証券の取得による支出	△14,715	△14,462
投資不動産の賃貸による収入	68,268	67,452
投資不動産の賃貸による支出	△17,857	△25,167
差入保証金の回収による収入	9,559	250
保険積立金の解約による収入	-	6,740
預り保証金の返還による支出	△50,519	-
預り保証金の受入による収入	28,515	10,251
その他	△2,100	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,921	△69,788

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	-
長期借入金の返済による支出	△309,656	△169,230
配当金の支払額	△974	△27,411
自己株式の取得による支出	△111	△130
リース債務の返済による支出	△3,181	△2,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,924	△199,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1,547
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△136,005	△110,052
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,343	1,585,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,172,337	1,474,968

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	2,199,370	269,413	2,468,784
量販店	803,250	8,812	812,062
専門店、小売店その他	1,675,269	580,068	2,255,337
顧客との契約から生じる収益	4,677,890	858,293	5,536,184
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,677,890	858,293	5,536,184

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	2,210,225	337,015	2,547,241
量販店	798,999	9,074	808,073
専門店、小売店その他	1,734,368	638,401	2,372,769
顧客との契約から生じる収益	4,743,593	984,491	5,728,084
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,743,593	984,491	5,728,084

(重要な後発事象)

該当事項はありません。